

年間授業計画

東京都立井草高等学校 令和5年度 教科 数学 科目 数学Ⅲ 年間授業計画

教科 目：数学 科目：数学Ⅲ 単位数：6単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：川村 哲平 河内 もも

使用教科書：(数研出版 数学Ⅲ)

使用教材：(数研出版 4STEP数学Ⅲ)

	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	第2章 式と曲線 第5章 微分法	平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 微分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	平面上の曲線についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現できる。 微分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現できる。	24

	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	第6章 微分法の応用	微分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	微分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現できる。	30
	第7章 積分法	積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現できる。	

	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	第7章 積分法	積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現できる。	30
	第8章 積分法の応用	積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現できる。	

	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	第1章 複素数平面	複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	複素数平面についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現できる。	16

8月	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	数学Ⅲ：2次試験対策演習	事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、これまで学習してきた知識と技術を活用する力を育てる。	事象を数学的に考察し、処理できる。 これまで学習してきた知識や技術を活用できる。	30

	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	数学Ⅲ：2次試験対策演習	事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、これまで学習してきた知識と技術を活用する力を育てる。	事象を数学的に考察し、処理できる。 これまで学習してきた知識や技術を活用できる。	30

	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	数学Ⅲ：2次試験対策演習	事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、これまで学習してきた知識と技術を活用する力を育てる。	事象を数学的に考察し、処理できる。 これまで学習してきた知識や技術を活用できる。	32

	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	数学Ⅲ：2次試験対策演習	事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、これまで学習してきた知識と技術を活用する力を育てる。	事象を数学的に考察し、処理できる。 これまで学習してきた知識や技術を活用できる。	18

1月	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

2月	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目数学Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				